

Physician Scientist 育成プログラム

第7回講習会（2026年度 対面講習会）

臨床の問いを、研究の一步へ。

経験を聴く。エキスパートに相談する。つながりをつくる。

2026年11月5日（木） 15:45～17:30

日本生殖医学会学術講演会 会期中

場所：第71回日本生殖医学会学術講演会・総会 会場内 秋田キャッスルホテル3F 弥生の間（予定）

臨床と研究をどうつなぎ、どう続けるか。前半は多様な立場の先生のご経験とパネルディスカッション、後半はグループセッションで少人数で研究の進め方やキャリアについて対話する対面プログラムです。前半(01)、後半(02)併せての参加をおすすめしますが、いずれかのみでも可能です。

01 パネルディスカッション

15:45～16:35 発表10分×4名＋パネルディスカッション10分

臨床と研究を両立する、4つの歩み

座長：大須賀 智子 / 田村 功

村岡 彩子 名古屋大学 産婦人科
臨床教室・基礎研究室との連携による研究とその発展

高橋 望 東京大学 産婦人科
医局を基盤とした臨床・留学・研究

佐古 悠輔 聖路加国際病院／藤田医科大学
CSDi・OZEMA・卵巣組織移植 ～ つながりのない“？”を追う理由 ～
（施設横断的な研究の発展）

小宮 慎之介 HORACグランフロント大阪クリニック
クリニックにおける臨床と研究の両立と発信

参加登録（01, 02共通）

<https://forms.gle/BxLxRz6UmnE2xMgY6>



02 Meet the Expert

16:50～17:30

6つのテーマで、研究・解析・キャリアについて相談、質問、自由討論。

1グループ6名程度の、対話中心のセッションです。成果物提出はありません。軽食提供予定です。

講師の略歴とテーマは裏面へ

参加費 [無料・会員限定] 申込（QRコードまたはURLより入力） <https://forms.gle/BxLxRz6UmnE2xMgY6>

締切 2026/10/31（土）応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます

MEET THE EXPERT

あなたの問い・悩みを、エキスパートと

11月5日（木）16:50～17:30 講師の先生を交えたグループディスカッション（各グループ6名程度）

01 基礎研究を極めるPhysician Scientist

臨床と基礎研究をつなぐ

廣田 泰

東京大学 産婦人科学講座 教授

1998年東京大学卒業。着床・妊娠成立の分子機構を中心に、基礎研究を展開。JST創発的研究支援事業や基盤研究AMED等、臨床研究を含めた大型研究プロジェクトを推進している。

テーマ例 | 臨床の疑問を基礎・臨床研究課題にするには？
留学からの研究発展、基礎研究者としての視点等

サブ進行：田村 功
(山口大学講師、JST創発研究者、基礎研究業績・受賞多数)

02 クリニックからの発信、施設横断的キャリアと研究

施設を越えて研究を続ける

小宮 慎之介 HORACグランフロント大阪クリニック 副院長

2010年防衛医科大学校卒業。2024年より現職
クリニックのデータを活用した成果を発信。

佐古 悠輔 聖路加国際病院・藤田医科大学

2015年順天堂大学卒業。不妊診療+MISに取り組みつつ
現在は藤田医科大学分子遺伝学研究部門に在籍し研究を推進。

テーマ例 | クリニックのデータを活用した発信、施設・大学の枠を越えたキャリア形成や研究活動等。

03 解析手法と研究、キャリア形成

バイオインフォマティクス

前川 亮

奈良県立医科大学 産婦人科学講座 講師

2001年山口大学卒業。生殖医療専門医・周産期専門医に加え
JSBi認定バイオインフォマティクス技術者。
バイオインフォマティクスを用いた業績多数。

テーマ例 | 研究目的に合う解析をどう選ぶ？ バイオインフォマティクスをどう学ぶ？

サブ進行：城下 亜文
(山口大学、バイオインフォマティクスを用いた研究を推進)

04 解析手法と研究、キャリア形成

臨床研究・統計解析

左 勝則

自治医科大学 産科婦人科学講座 准教授

2006年千葉大学卒業。ジョンズ・ホプキンス大学で公衆衛生修士号を取得。2023年より現職。生殖医療と疫学・生物統計学を専門とし、ARTレジストリを活用した報告多数。生殖医学会幹事としても活躍。

テーマ例 | 臨床の問いに合う研究デザインは？ 統計解析の手法、考え方。

サブ進行：北原 慈和
(群馬大学講師、統計学を学んだ経験を活かし臨床研究を推進)

05 ライフイベントと研究の継続

医局を基盤にキャリアを育てる

村岡 彩子

名古屋大学医学部附属病院 講師

2010年名古屋大学卒業。名古屋大学産婦人科で講師を務めつつ、大学院生指導や基礎研究を継続的に発展。

テーマ例 | ライフイベントとキャリア形成、家庭や子育て、医局業務との両立、臨床・基礎研究の続け方は？

サブ進行：仲西 菜月
(愛知医科大学講師、夫の留学に帯同しつつキャリアを形成)

06 臨床、研究ともに第一線で領域横断的な活躍を継続

男性不妊：泌尿器科×産婦人科

白石 晃司

山口大学 泌尿器科学講座 教授

1995年山口大学卒業。米国アイオワ大学での研究留学などを経て、2022年より現職。男性不妊の診療、ロボット手術をはじめとした悪性腫瘍手術や研究に取り組む。

テーマ例 | 生殖医療に求められる泌尿器科医の役割は？
泌尿器科と産婦人科の連携による研究の発展性等。

サブ進行：大須賀 智子
(愛知医科大学教授、PS小委員会委員長)